生きもの発見レポートまとめ　2023年２月分

●ほ乳類
・庭にやってきたアライグマを撮影した投稿がありました。

●鳥類
・カモ類は投稿が少なく、マガモ、ホシハジロとなっています。一方、その他の水辺の鳥の投稿が賑やかで、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、ヤマシギ、タシギ、カワセミなどと多彩です。
・ヤマシギは初めての投稿ですが、北海道と東日本及び伊豆諸島で繁殖し、本州から南西諸島にかけた 地域では主に越冬期のみ渡来する渡り鳥です。国外ではユーラシア大陸の中緯度地方に 広く分布していますが、生息数は減少を続けており、生息状況も不明な点が多い野鳥です。町田の水辺環境はこうした希少な野鳥が越冬できる環境であることを示しているものと思います。
・２月はスズメ目の投稿が多く、モズ、オナガ、ヤマガラ、メジロ、ヒレンジャク、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ウグイス、キセキレイ、ハクセキレイ、ビンズイ、アオジと冬鳥を中心に、賑やかなラインナップとなりました。
・ヒレンジャクは2021年2月の投稿に続いて２度目ですが、ヤドリギの実が熟すこの季節ならではの投稿記録です。
・１月は冬鳥のツグミの情報が少なく、気になっていましたが、２月は４件の投稿があり、安心しました。

●昆虫
まだ寒い日が続き、今月の投稿は２件でした。
少し暖かくなれば、昆虫も動き始めます。春はもうすぐそこです。

●植物（調査対象種）
・早々に咲き出したタンポポの投稿とカラスウリの実の写真です。
・タンポポ類の一つはカントウタンポポなのですが、もう1点は総苞が写っていないため、特定が困難です。

●その他
・フクログモ類の投稿がありましたが、この仲間は写真だけでは特定が難しい種類です。ススキやチガヤなどの葉を巻いて巣をつくるヤマトコマチグモやカバキコマチグモなどが市内にはいますが、写真からはヤマトコマチグモがもっとも可能性が高いのではないかと思われます。
・ムカデ類の投稿がありました。トビズムカデのようです。黄色い足の個体が普通ですが、色彩変異があり、赤い足の個体もあるようです。雑木林の林床周辺で見られますが、人家内に侵入することもあり、不用意につかむと大あごで噛みつかれるので、注意が必要です。

アライグマ
（小山）

アオゲラ
（野津田）

アオゲラ
（忠生）

アオサギ
（小山）

アオサギ
（山崎）

アオサギ
（根岸）

アオジ♀
（野津田）

アオジ♀
（山崎）

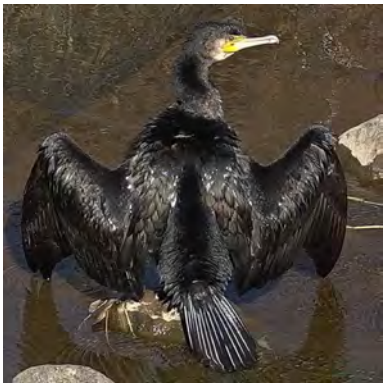
アオジ♂
（小野路）

ウグイス
（小山ヶ丘）

オナガ
（小山）

カイツブリ
（根岸）

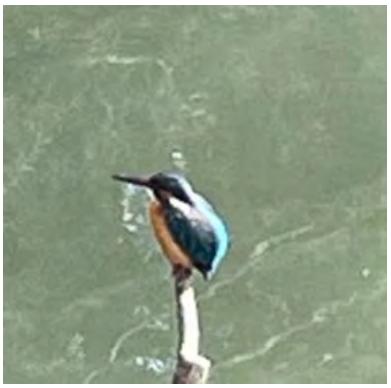
カワウとダイサギ
（金井）



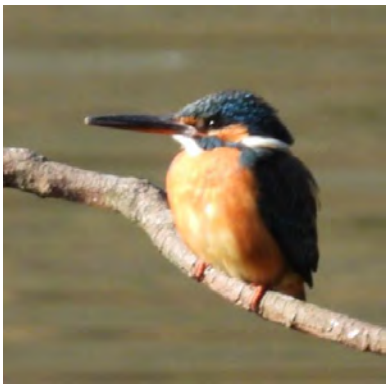
カワウ
（根岸）

カワセミ♂
（山崎）

カワセミ♂
（小山）



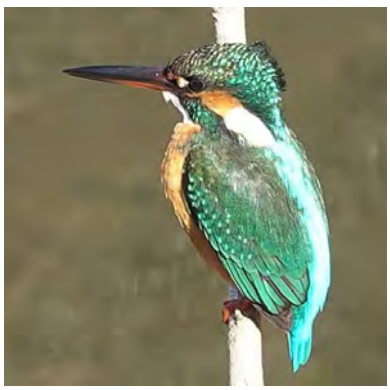
カワセミ
（野津田）



カワセミ♀
（金井）

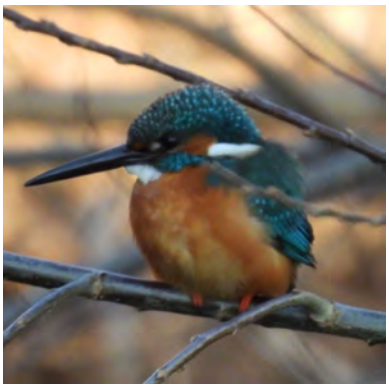
カワセミ♂
（野津田）

カワセミ♀
（野津田）



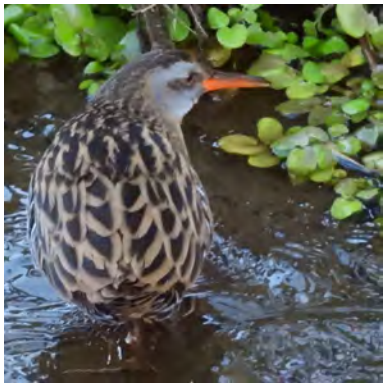
カワセミ♀
（木曽西）

カワセミ
（南大谷）



カワセミ♂
（野津田）

キセキレイ
（小山）



クイナ
（図師）

コサギ
（野津田）

ジョウビタキ♂
（野津田）

ジョウビタキ♀
（野津田）

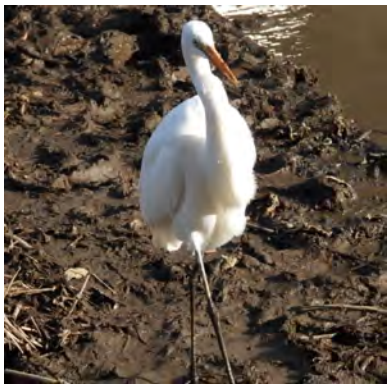
ジョウビタキ♂
（野津田）

ジョウビタキ♀
（小山ヶ丘）

ジョウビタキ♂
（山崎）

シロハラ
（忠生）

シロハラ
（原町田）



ダイサギ
（野津田）

タシギ
（図師）

ツグミ
（忠生）

ツグミ
（忠生）

ツグミ
（小野路）

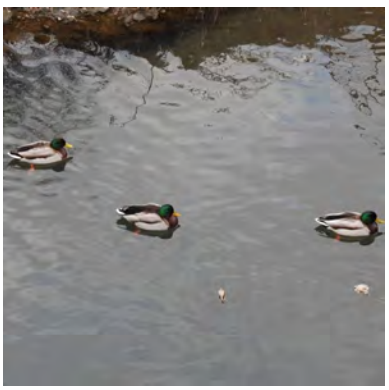
ツグミ
（山崎）

ハクセキレイ
（野津田）

ヒレンジャク
（木曽東）

ビンズイ
（小山）

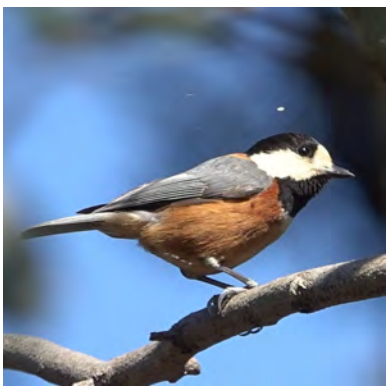
ホシハジロ　ペア
（野津田）



マガモ♂
（山崎）

メジロ
（忠生）

モズ♀
（図師）



ヤマガラ
（小野路）

ヤマシギ
（場所非公開）

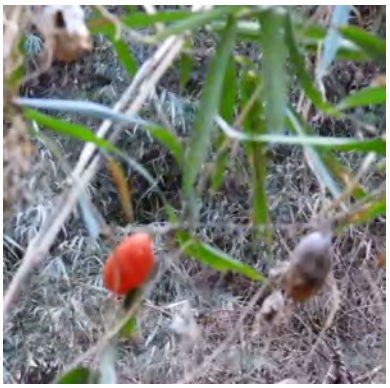
ヤマシギ
（図師）

ルリビタキ♀
（野津田）

ルリビタキ
（原町田）

アサギマダラ　幼虫
（相原）

ヤマトシジミ　幼虫
（南大谷）



カラスウリ
（下小山田）

カントウタンポポ
（三輪）

タンポポの仲間
（小野路）

トビズムガデ
（忠生）

フクログモの仲間
（本町田）